

日本社会保障法学会会報 第20号

発行日：2006.4.1 発行人：井上英夫 編集人：木下秀雄 発行：日本社会保障法学会
事務局住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学法学部気付
Tel/Fax：06-6605-2322 E-mail：social@law.osaka-cu.ac.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/index.html 会員数：622名（2006年4月1日現在）

第49回春季大会開催案内 事務局長 木下秀雄（大阪市立大学）

日本社会保障法学会第49回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・日 時：2006年6月3日（土） 9：30～17：00
- ・会 場：岩手大学人文社会科学部（〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18-34）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場：人文社会科学部5号館1階51大教室
- ・お問い合わせ先 Tel：019（621）6704（人文社会科学部事務局）
- ・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください）

受付開始・・9:00
開会・・9:30

個別報告

第一会場(人文社会科学部5号館1階51大教室)

大原利夫(関東学院大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30
「社会保障におけるインフォームド・ディシジョン
エリサ法の積極的情報提供信認義務を素材に」
司会：菊池馨実（早稲田大学）

第二会場(人文社会科学部5号館2階52大教室)

脇野幸太郎(明治大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30
「ドイツ公的扶助制度の史的展開の一断面
「典型的な過渡的形態」としてのヴァイマル期公的扶助立法」
司会：河合研一（前明治大学）

共通テーマ・シンポジウム

「社会保障法と自立」
司会：秋元美世（東洋大学）
江口隆裕（筑波大学）

- 秋元美世(東洋大学)..... 10:40~11:00
「社会保障法と自立
自立を論じることの意義について」
橋本宏子(神奈川大学)..... 11:00~11:40
「社会福祉サービス法と自立
個人の自立を育む社会の形成とその可能性(苦情解決制度を素材として)」
堀勝洋(上智大学)..... 11:40~12:20
「所得保障と自立」

休憩(昼食)..... 12:20~13:20

総会..... 13:20~13:50

開催校挨拶..... 13:50~14:00

共通テーマ・シンポジウム(続き)

- 石橋敏郎(熊本県立大学)..... 14:10~14:40
「生活保護法と自立
就労自立支援プログラムを中心として」
稲森公嘉(京都大学)..... 14:40~15:20
「医療保障法と自立
リハビリテーション医療を中心に」

休憩..... 15:20~15:35

シンポジウム..... 15:35~17:00

大会終了..... 17:00(予定)

同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2006年5月20日(土)**までにご返送いただきますようお願いいたします。

昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2.昼食」の「要」に をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付前にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。

本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

本大会では、事務局の都合等により、懇親会は開催されませんのでご了承下さい。

なお、宿泊につきましては岩手大学生協旅行センターの資料を同封いたします。会員各位におかれましてはこれを参考にいただければ幸いです。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 秋元美世(東洋大学)

第49回大会では、午前中、まず2名の会員による個別報告が行われます。報告者、報告テーマについては、本会報の大会次第をご覧ください。なお2つの報告が平行して行われますので、会場等についてはご注意下さい。個別報告終了後、引き続き、「社会保障法と自立」という共通テーマで、第49回大会のシンポジウムを行います(報告者、題目については大会次第をご覧ください)。前号の会報でもお伝えしたように、企画委員会では、今年が50回目の大会を迎える年であると

いうことを踏まえまして、今回のシンポジウムについて従来とは多少趣を変えて準備を進めてきました。1つは、福祉、公的扶助（生活保護）、所得保障、医療といった社会保障法の主な領域をそろえて議論の対象にしたという点、いま1つは関西、関東といった地域の枠を外して研究会を組織した点です。具体的には、理事会からの協力が得ながら、各領域毎の研究グループを地域横断的に立ち上げました。昨年の8月以降、各グループ毎の作業を開始し、その後随時全体研究会を開くという形で準備を進めております。多くの会員のみなさんの参加をお待ちしております。

ところで、本年は50回目の大会を迎える節目の年であるとともに、2001年に本学会が編集した『講座社会保障法』（全6巻）が刊行されてちょうど5年目にあたる年でもあります。そこで、今秋の50回大会では、社会保障法学の固有の役割や存在意義をあらためて考えてみたいということで、社会保障法に関連のある他の学問領域の研究者・専門家の方をお招きして記念シンポジウムを開催することを予定しております。ご期待下さい。

個別報告については報告者を随時募集しております。個別報告を希望する会員は、理事または企画委員にお申し出下さい。個別報告をしていただく場合には、本学会の会員を中心に組織された各地の研究会で準備報告をしていただくことになっております。地域的に組織立った研究会がない場合にも、企画委員会から最寄りの研究会をご紹介しますので、遠慮なくご相談ください。

また、企画委員会では、今後の企画立案に役立てるため、若手学会員（40歳未満）の文献リストを作成し、会報の紙面を利用して公表しています。2005年9月以降に発表された論文や著書がありましたら、現物またはコピーを下記の企画委員長宛にお送りください（なおそれ以前のものでも、前号の会報で文献リストに掲載されていないもの ただし、2005年1月以降のもの であれば構いませんのでお送り下さい）。なお、お送りいただいた論文や著書の現物およびコピーは返却いたしません。

〒112-8608 東京都文京区白山5-28-20
東洋大学社会学部 秋元美世 宛

若手会員文献リスト（2006年3月現在のもの、著者五十音順）

著者	題目	出典	発行年月
石橋敏郎・河谷はるみ・長千春	介護保険法の改正に伴う諸問題について：新「予防給付」、地域支援事業、サービスの質の評価、情報の公開、介護手当を中心として	『アドミニストレーション』第12巻1・2合併号	2005年12月
葛西まゆこ	生存権と立法裁量：アメリカ州憲法における判例展開を手がかりに	『法学政治学論究』第67号	2005年冬期号
田中明彦	国民年金制度の歴史的考察と学生障害無年金訴訟（1）～（3）	『賃金と社会保障』第1394号、1395号、1397号	2005年5月～7月

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 秋元美世（東洋大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第22号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要領は、下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、編集委員会で決定します。
- 4 採用に当たっては、より一層に内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、12,000字(200字詰め原稿用紙60枚)以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求して下さい。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いず、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用して下さい。
- 7 英文タイトルおよび英文要約(200語以内)を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含めて3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締切は2006年9月30日(必着)とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学法学部気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 秋元美世(東洋大学)

2006年度(第5回)学会奨励賞候補作品の推薦(自薦も含む)を、下記の要領で募ります。なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2005年(1月から12月)に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に35歳以下の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締切：2006年5月31日
- 5 推薦の通知先：〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学法学部気付
日本社会保障法学会事務局宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長代理 品田充儀(神戸市外国語大学)

学会誌21号につきましては、会員の皆様のご協力により、現在(3月15日)のところ、公刊に向け鋭意努力中です。加藤編集委員長の帰国を待っての決定となりますが、49回春季大会においても、学会当日の昼食休憩時間を利用して、編集委員会を開催することになると思います。編集委員会の委員におかれましては、具体的な日時等についてメールでお知らせいたしますので、ご承知おき下さい。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

2005年度10月定例理事会

- ・日時：2005年10月14日(金) 16:00～18:00
- ・場所：岡山大学文法経2号館2階法学部会議室
- ・議事内容
 - 第49回春季大会の運営について(略)
 - 第50回秋季大会の運営について(略)
 - 第51回春季大会以降の運営について(略)
 - 学会誌編集委員会より
品田学会誌編集委員長代理より、学会誌第21号の執筆者等についての報告。
 - 国際交流委員会より
井上代表理事より、英文パンフレットが完成した旨の報告。
 - 奨励賞について(略)
 - 日本学術会議関連の動きについて
河野会員より、最近の日本学術会議の動向についての報告。
 - 2005年度会計について
脇田会計担当理事より、2005年度会計の中間報告がなされた。
 - 特別会計について
脇田会計担当理事から、特別会計の予算の提案と中間報告がなされた。
 - 入会者承認、退会者報告(略：下記の入退会者紹介をご覧ください)

2005年度12月定例理事会

- ・日時：2005年12月17日(土) 16:00～18:00
- ・場所：京都大学大学院人間・環境学研究科棟333号室
- ・議事内容
 - 第49回春季大会の運営について(略)
 - 第50回秋季大会の運営について(略)
 - 第51回春季大会以降の運営について(略)
 - 学会誌編集委員会より
品田学会誌編集委員長代理より、学会誌第21号のタイトル、目次、執筆者等についての報告。
 - 国際交流委員会より
林国際交流委員長より、学会ロゴについての報告。
 - 日本学術会議関連の動きについて(略)
 - 入会者承認、退会者報告(略：下記の入退会者紹介をご覧ください)

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

学会費振替手数料の会員負担について

これまでは学会費振込手数料70円(窓口での旧料金)については学会が負担してまいりましたが、2006年4月から振込手数料が100円(窓口での新料金)に引きあげられることになりました。このままでは、学会の財政負担が大きくなるため、誠に申し訳ありませんが、学会費振込手数料の負担につきましては、今後、各会員の負担とさせていただきます。会員各位のご了解とご協力をお願いいたします。

なお、ATMを利用する場合には、手数料負担が60円に据え置かれていますので、そちらをご利用ください。

英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

次回以降の学会大会について

第50回秋季大会は、2006年10月14日(土)南山大学にて開催される予定です。

学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部(Tel: 075-702-5830)にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

入退会者紹介 日本社会保障法学会事務局

- ・2005年10月14日、12月17日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
(順不同、敬称略)
小川富之(愛知学院大学法学部)
吉永 純(京都市役所保健福祉局介護保険課)
岩間大和子(国立国会図書館調査立法考査局社会労働調査室)
田中伸至(新潟大学法学部)
西村 淳(医療経済研究機構)
福山圭一(財団法人年金総合研究センター)
- ・2005年10月14日、12月17日の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
(順不同、敬称略)
山田桂三、今村みず穂、奈倉道隆、鈴木徳松